

会議室(学校)の防音対策事例

《背景》

最近の設計で建設された会議室は、価格や掃除が便利等の要求により、壁にはリノリウム、壁はプラ

スターボード、いすはプラスチック表皮等が採用され、音の吸収部材 の使用が極端に少なくなっており、結果として音の反響が過多で音が 聞き取りづらい等の問題があります。

今回の会議室(都立高校)も残響対策がなされておらず、床・壁・ 天井のほか、机の表面での音の反響も大きい状態でした、測定の結果、 残響時間は1.7秒と長く、会議室としては問題のある部屋となってい た。



目的

① 会議室への吸音性付加による音響環境(残響時間)の改善。

対策概要

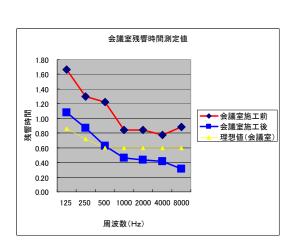
- ①お客様都立高校で吸音性が不足して、言葉が通りにくいので改善してほしいとの要望あり。
- ②お客様の要望を満たす構造(吸音ブラインド)を提案。
- ③検討結果を報告し、お客様の了解を得た後、内装工事を受注(当社関連会社)。
- ④防音材構造物を出荷、現地で取り付けの内装工事実施。
- ⑤ 再度、残響時間測定し残響時間が最適値になっていることを確認。

効果

対策前・後残響時間を右図に示す。

対策前の測定の結果、残響時間は 1.7 秒と長く、会議室としては問題のある部屋となっていた。

設置後は残響時間が 1.1~0.4 秒程度に改善され、会議室として優れた残響時間レベルとなった。



日本特殊塗料株式会社

■本社 東京都北区王子 5-16-7 Tel 03-3913-6131 FAX 03-3914-1082

■開発センター 東京都北区豊島 8-16-15 Tel 03-5390-0668 FAX 03-3914-1085